



# せみ・ソーラーライトとは・・・？

○まったく、新しいジャンルのソーラー照明(街灯・防犯灯)です！

同類品と比較すると・・・

○従来より、主に公共施設などに設置され、環境アピールのモニュメントとして、意匠性重視の防犯、街路灯。風力発電と組み合わせたタイプもあります。  
 機器費約 50万円～150万円+建柱設置費+設営場所、等が必要となり、防犯灯、街路灯としては非常に高価だが、高性能でもある。  
 維持費(バッテリーの交換費20～50万)が高額。



○新ジャンル！既設ポールにスパナーつで簡単取付。機器費と設置費を合わせても20万円台とリーズナブル。明るさは100W水銀灯並み。バッテリーの交換も3万～6万円台から。一般人でも簡単取替。



○ホームセンターなどでよく見かける小型ソーラーライト  
 数千円～2～3万円程度で数多く販売され、園芸用や、一般家庭や建築現場などで、主に防犯用として使われている。



SEMIとは  
中間という  
意味もある

## 【せみ・ソーラーライトの導入にあたっての注意点。】

- ①ポールあと付けタイプなので、ポールに十分な強度が必要となります。
- ② 軽量コンパクトにするため、蓄電量と発電量は控えめ、その割に明るさは十分なので、4～5日悪天候が続くと点灯しない日も発生しますが、天候が回復すれば、自動的に点灯を始めます。設置場所の条件で消灯時間設定を行います。(常夜灯タイプは別)
- ④ 設置にあたり、パネルの南向き設置が条件、年間通して日あたりの良い場所への設置。最低でも毎日4時間の日射時間が必要です。
- ⑤ バッテリーの交換サイクルは3年～4年のサイクル、早めの交換がおすすめです。(メンテ・電気代3年で30,000円＝1日30円が目安)

※150Wタイプや、常夜灯タイプはバッテリーを2個使用しているため交換費は約2倍となります。